

血友病患者の QOL に与える HIV の影響に関する調査

研究分担者

竹谷 英之 東京大学医科学研究所附属病院関節外科科長（講師）

研究協力者

柿沼 章子 社会福祉法人はばたき福祉事業団

鯉淵 智彦 東京大学医科学研究所附属病院

瀧 正志 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

藤谷 順子 国立国際医療研究センター

鈴木 隆史 荻窪病院

佐藤 真紀 東京大学医科学研究所

研究要旨

従来行ってきた血友病患者全体を対象とした QOL 調査を本年度から HIV が血友病患者に影響を主眼として調査を行う。治療薬が急速に開発・改良された結果、HIV 感染症は当初不治の病とされたが、現在では内服治療を中断しなければ致命的な合併症がほぼなくなり、HIV 感染患者の高齢化が起きている。過酷な時代を過ごし現在も治療を続けている患者の QOL 状況を調査し、高齢化した患者に残る薬害被害の影響の存在とその程度を明らかにすることを目的としている。

A. 研究目的

研究 I：HIV 感染が血友病患者の QOL に与えた影響に関する予備解析

HIV 感染血友病患者を対象に QOL 等への影響を患者にアンケート調査を行うために、国立研究開発日本医療研究開発機構感染症実用化研究事業エイズ対策実用化研究事業「血友病とその治療に伴う種々の合併症克服に関する研究の分担研究である H27 年～H29 年度「血液凝固異常症の QOL に関する研究」結果から非加熱製剤使用世代となる 30 歳以上の血友病患者だけを対象として、血友病患者に対する HIV 感染の影響について予備解析を行い、来年度以降のアンケート調査作成の参考にすることを目的とする。

研究 II：HIV 感染が血友病患者 QOL に与えた影響に関するアンケート調査

本研究の他の分担研究で行われる研究内容との重複を避け、本研究テーマ I で解析した結果を踏まえて、血友病患者に対する HIV 感染の年齢的・年代的影響を、アンケート調査票を作成し集積結果を解析し、2020 年の HIV 感染影響状態を明確にすること。

B. 研究方法

研究 I：HIV 感染が血友病患者の QOL に与えた影響に関する予備解析

- 1) 研究対象：H27 年～H29 年度「血液凝固異常症の QOL に関する研究」でアンケートに協力頂いた 429 名（HIV 感染者 157 名、非感染者 272 名）のアンケート調査結果。
- 2) 研究解析期間：2018 年 4 月 1 日から 12 月 31 日
- 3) 検討項目は患者の年齢や血友病タイプなどの基本的属性と治療状況や身体機能など

4) 倫理面の配慮

本調査は代表研究施設の倫理審査承認後に既に行われた結果の再解析であり、この解析について今回倫理審査は必要ないと考えた。

研究Ⅱ：HIV 感染が血友病患者 QOL に与えた影響に関するアンケート調査

- 1) 研究対象：インターネットによるアンケート調査に協力頂ける血友病
- 2) 研究期間：2019 年 1 月から 2021 年 3 月末まで
- 3) 検討項目：2019 年度にアンケート調査票を検討し決定する予定
- 4) 倫理面の配慮
アンケート調査票が完成した後に倫理審査申請・承認を得る

C. 研究結果

研究Ⅰ：HIV 感染が血友病患者の QOL に与えた影響に関する予備解析

HIV 感染者は非感染者と比べて有意に、平均年齢(49.2 ± 8.3 歳 vs 52.1 ± 13.3 歳)は若く、平均体重(60.8 ± 10.kg vs 64.3 ± 11.1kg)は軽く、重症度はより重症であったが、血友病タイプやインヒビターの有無には有意差はなかった。就労状況についても差が見られなかった。出血などの症状や併存症について感染者の方が有意に、出血し易く回数も多く、関節内出血もし易く回数も多く、標的関節を有していた。C 型肝炎や腎機能障害、高血圧そして骨粗鬆症の併発率は有意に高かったが、糖尿病、高脂血症、心疾患そして悪性腫瘍(肝癌を除く)では差がみられなかった。医療制度においては、障害者手帳を持ち障害年金受給者が多かった。定期補充療法の実施率は感染者で高かった。身体機能に関しては、多くの日常生活動作が有意に阻害されていた。

研究Ⅱ：HIV 感染が血友病患者 QOL に与えた影響に関するアンケート調査

未実施のため特になし

D. 考察と E. 結論

研究Ⅰ：HIV 感染が血友病患者の QOL に与えた影響に関する予備解析

HIV 感染者と比べて、非感染者は比較的年齢は高く定期補充療法の実施率が低いものの、(関節内)出血や標的関節が少なく、身体機能が保たれているという結果となった。これは非加熱製剤を頻回に使用する必要がなかった患者は HIV に感染するリスクが低かったことが影響している可能性があり、その

解析のために年齢的な影響だけでなく年代的影響を調査する必要があると考えられた。

研究Ⅱ：HIV 感染が血友病患者 QOL に与えた影響に関するアンケート調査

未実施のため特になし

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他
特になし